

入湯税超過課税分充当事業  
令和4年度 事業報告書

別府市

## 入湯税超過課税分の使途 “5本の柱”

### 1 温泉資源の保護、確保

- (1) セーので測ろう！別府市全域温泉一斉調査 (p2)
- (2) 地下水の現状調査 (p2)
- (3) 別府市温泉賦存量調査結果 GIS データ登録 (p2)
- (4) 別府市給湯事業見直し (p3)
- (5) 市営温泉の衛生管理強化 (p3)
- (6) 共同温泉改修等補助金 (p3)

### 2 観光客の快適性確保 (ストレスフリー)

- (1) お宿予約サイト構築プロモーション事業 (p4)

### 3 観光客の安全・安心の確保

- (1) 別府インターナショナルプラザ組織強化 (p4)
- (2) 「駅前情報発信 café」維持管理・運営業務 (p5)

### 4 観光客を増加させるための事業推進

- (1) 別府版DMO機能充実のための新規人材の雇用 (p5)
- (2) 観光マーケットター育成事業 (p6)
- (3) 海外旅行会社とのネットワーク構築 (ランドオペレーター) 事業 (p6)
- (4) 既存資源の磨き上げによる新規アクティビティ開発事業 (p7)

### 5 観光客の受入体制の充実

- (1) トイレ整備費及び除草作業等景観維持費用 (p8)

別府市入湯税の超過課税分の使途に関する審議会条例第 2 条各号に関連する事業として、下記事業を実施した。

## 1 温泉資源の保護、確保

(1) せーので測ろう！別府市全域温泉一斉調査 [決算額 941 千円]

### ① 事業目的

資源保護及び市民への啓発のため、市有源泉を中心に実施している源泉の定点観測調査について、民間事業者の源泉を含めデータの蓄積と温泉資源保護の必要性を周知する。

### ② 事業内容

市民参加型の温泉資源の定点観測調査を行い、継続的に経年変化の有無等を確認するため、温泉水のサンプル採取、温泉水の温度及び電気伝導度測定の実施する。

### ③ 事業実績

- 令和 4 年度で 7 回目となる温泉一斉調査は、市営温泉、共同温泉等の源泉の経年変化を確認するために毎年実施している市民参加型の調査であるが、新型コロナウイルス感染症の拡大により令和 3 年度に引き続き市民参加型による開催は中止とし、12 月 5 日から 12 月 8 日にかけて温泉課職員による温泉調査のみを実施した。
- 温泉調査は、令和 3 年度同様に、温泉水のサンプル採取、温泉水の温度及び電気伝導度測定の実施し、市内の 29 施設で 45 か所の源泉から温泉水を採取した。採取した温泉のサンプルは、専門の分析機関に依頼して、7 つのイオン分析（ナトリウムイオン、カリウムイオン、カルシウムイオン、マグネシウムイオン、塩化物イオン、硫酸イオン、炭酸水素イオン）を行い、継続的なデータの蓄積を図った。
- 一斉調査で得られた過去のデータは、広く一般に公開し、基礎的な情報を提供することを目的として、「せーので測ろう！別府市全域温泉一斉調査 Web マップ」をホームページにおいて公開している。

[http://serv105.beppu.local/sangyou/onsen/seno\\_isseichosa.html](http://serv105.beppu.local/sangyou/onsen/seno_isseichosa.html)

(2) 地下水の現状調査 [決算額 10,000 千円]

### ① 事業目的

温泉資源に必要な地下水に関するデータが不足しているため、地下水の利用状況を把握し、温泉資源の保護施策の基礎資料とする。

### ② 事業内容

別府市の地下水の状況に関する調査研究について、京都大学への受託研究事業により実施する。

### ③ 事業実績

令和 2 年度及び令和 3 年度に引き続き、別府市の地下水の状況に関する調査研究を受託研究事業により行った。令和 4 年度は、複数資料の整理による別府温泉の流出水量の推定、蒸気性温泉の形成に要する蒸気 CO<sub>2</sub> 濃度に関する研究のほか、温泉水の涵養域の推定にかかる水同位体データの収集と推定方法（大沢ほか、2009）の再検討を行い、研究成果が「令和 4 年度別府市の地下水の状況に関する調査研究報告」としてまとめられた。

(3) 別府市温泉賦存量調査結果 GIS データ登録 [決算額 1,886 千円]

### ① 事業目的

令和元年度から令和 2 年度に実施した別府市温泉現況調査及び別府市温泉賦存量調査の調査結果を統合型 GIS（地理情報システム）に反映させ、温泉資源の持続可能な保護対策の基礎資料とする。

② 事業内容

令和元年度から令和 2 年度に実施した別府市温泉現況調査及び別府市温泉賦存量調査の調査結果を統合型 GIS に反映させる。

③ 事業実績

別府市温泉現況調査及び別府市温泉賦存量調査の調査結果を別府市統合型 GIS ヘッダータセットアップを実施した。

(4) 別府市給湯事業見直し [決算額 2,673 千円]

① 事業目的

市有泉源から市有温泉や共同温泉その他公用又は公共用温泉などへ温泉を供給する別府市給湯事業を見直し、温泉の安定供給を図るとともに温泉資源の保護につなげる。

② 事業内容

別府市が行う温泉給湯事業の給湯路線（6 路線：総延長約 46 km）の現状分析を行うとともに、効率的な運用を図るための見直し案を策定し、適切な維持管理・修繕・更新を行う。

③ 事業実績

1 路線の個別施設計画に係る基礎調査として既存資料の整理・収集及び現状分析を実施した。

(5) 市営温泉の衛生管理強化 [決算額 535 千円]

① 事業目的

温泉施設に義務付けられている年 1 回のレジオネラ属菌検査について、任意での検査を 1 回追加し、市営温泉の衛生管理の強化を図る。

② 事業内容

法令等で定める基準以上で実施している市営温泉の全浴槽及び貯湯槽の水質検査を、任意で 1 回追加して、法定検査、任意検査の年 2 回実施する。

③ 事業実績

市営温泉 18 施設の水質検査（レジオネラ属菌検査）を実施した。

(6) 共同温泉改修等補助金 [決算額 313 千円]

① 事業目的

共同温泉から要望の多い、温泉運営に支障のある軽微な補修、手すりや浴槽内段差設置といったバリアフリー対応に関し、即応性の高い予算執行を可能とする。

② 事業内容

市有区営温泉のうち、立ち寄り入浴のできる共同温泉において、温泉利用に資する部分に係る急を要する改修、手すりの設置等バリアフリー対策、その他観光客の入浴のための施設整備に要した経費に対し、補助金を交付する。

③ 事業実績

市有区営温泉 2 施設に対して補助金を交付した。

(令和4年度補助金交付実績)

No.	種別	事業内容	補助金額
1	施設改修	温泉改修（浴槽タイル張替）	112,700円
2	施設改修	温泉改修（手摺取付・天井補修）	200,000円

#### 【事業評価】

せーので測ろう！別府市全域温泉一斉調査は、新型コロナウイルス感染症の拡大により市民参加型による調査は中止となったものの、温泉課職員による調査を行い、継続的なデータの蓄積を行うことができた。地下水の現状調査、別府市温泉賦存量調査結果 GIS データ登録及び給湯管ルート的基础調査を実施し、温泉資源の保護・確保に向けた現状分析を行うことができた。また、共同温泉に対して、浴室タイルの張替工事等に係る補助金を交付し、施設の緊急改修等の実施に寄与することができた。

## 2 観光客の快適性確保（ストレスフリー）

(1) お宿予約サイト構築プロモーション事業 [決算額 17,764 千円]

### ① 事業目的

別府市内の宿泊施設を対象とした別府オリジナル宿泊予約サイトを構築及び運営することにより、これまで市外企業へ支払われていた販売手数料の域外流失を留め、また大企業が運営する予約サイトよりも低額の手数料にすることで宿泊事業者の経費軽減を図る。

### ② 事業内容

別府市のお宿を対象とした宿泊予約サイトを構築するとともに重点ターゲットエリアである福岡県へアプローチを行う。

### ③ 事業実績

- ・ 別府市公式宿泊予約サイト「ゆのくにゆのたび別府温泉」を R4 年 6 月にリリース
- ・ 福岡県を中心に WEB 広告を配信
- ・ リリースから R5 年 3 月末までで予約人数 437 人、キャンセル人数 169 人、宿泊者数 268 人、宿泊金額計 405 万円
- ・ サイトオープン時は 27 宿泊施設が登録
- ・ サイトコントローラー（宿在庫システム）2 社と連携
- ・ お宿取材数 9 宿

#### 【事業評価】

令和4年6月に別府市オリジナル宿泊予約サイト「ゆのくに ゆのたび 別府温泉」を開設し福岡県を中心に WEB 広告等を配信したが、全国旅行支援が実施されているなかでの開設であったため、予約数は伸び悩んだ。令和5年度以降は、独自のキャンペーン施策などを宿泊施設等関係者と協議しながら掲載し、サイトの運用から得られる消費者データを活用した観光施策に反映したい。

## 3 観光客の安全・安心の確保

(1) 別府インターナショナルプラザ組織強化 [決算額 11,892 千円]

### ① 事業目的

市内ボランティア団体の活動に大きく依存してきた訪日外国人観光客案内業務を持続

可能な業務体制とすること。

② 事業内容

BIP（別府インターナショナルプラザ）事業部が観光案内所（市内 3 か所）の管理運営を行う。

③ 事業実績

・マネージャー1名 ・サブマネージャー1名 ・他正社員1名

観光案内所	鉄 輪		えきマチ 1 丁目		ワンダーコンパス別府	
体 制	1 名		1～2 名		2～3 名	
営業時間	9：00～17：00		9：00～17：00		9：00～18：00	
来場客数	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 3 年度	令和 4 年度
	7,886 名	19,429 名	11,763 名	24,917 名	13,505 名	41,410 名

(2) 外国人向け観光案内所「駅前情報発信 café」維持管理・運営業務

[決算額 15,494 千円]

① 事業目的

外国人観光客に対応できる観光案内所「駅前情報発信 café（ワンダーコンパス別府）」の運営強化を目的とする。

② 事業内容

- ・ 外国人観光客へ向けた情報提供及び情報収集
- ・ 外国へ向けた別府観光の情報発信
- ・ 外国人観光客同士の情報交換ほか

③ 事業実績

来場者数：41,410 名（令和 3 年度 13,505 名）

運営体制：常駐 3 名

営業時間：9:00～18:00

サービス：案内業務及び各種チケットの販売、レンタサイクル、車椅子及びベビーカーのレンタル、手荷物の預かり、ドリンク販売ほか各種サービスの提供。

その他：他自治体の観光等ポスター・チラシの設置

**【事業評価】**

令和 4 年 10 月以降の渡航解禁等により、各観光案内所への来訪者数は前年度と比較して大幅に増加。令和 5 年 3 月末をもって別府駅構内にある別府市観光協会が運営していた観光案内所が閉鎖したことにより、次年度以降はこれまで以上に利用者の増加が予想されるため、国内外すべての来訪される観光客の利便性向上を図る。

**4 観光客を増加させるための事業推進**

(1) 別府版 DMO 機能充実のための新規人材の雇用

[決算額 14,740 千円]

① 事業目的

まちに根差した地域づくりとエビデンスに基づいた観光地戦略を実施することにより、「別府の稼ぐ力」を向上させることを目的とする。

② 事業内容

基幹産業である観光産業を発展させるため、地域経済活性化アドバイザーの助言を踏まえ、「別府の稼ぐ力」の向上や観光DX（デジタルトランスフォーメーション）の推進を図る。

③ 事業実績

- ・ 昨年度に引き続き官公庁等の事業等については「(公社) ツーリズムおおいた」の公募事業などを受託した。大分県の観光振興のため、オンライン用動画を企画・制作し、国内外に広く配信することによって大分県ファンを増やすことを目的とした事業であり、別府市への誘客も大きく期待できる事業となった
- ・ 観光産業の変革を目指すために、「別府オリジナル宿泊予約サイト」の運用について、主に SEO 対策の面で様々なアドバイスをもらい実施した
- ・ 観光庁「地域一体となった観光地・観光産業の再生・高付加価値化事業」を地域として申請する際のサポートを実施、結果として市内 14 事業者に対し約 8 億 4 千 600 万円の交付を受けた
- ・ 温泉や観光施設を巡れるコンテンツを造成。市内 17 観光施設を繋いで周遊パスポートを造成した

(2) 観光マーケットター育成事業

[決算額 2,000 千円]

① 事業目的

まちに根差した地域づくりとエビデンスに基づいた観光地戦略を描ける人材の雇用を目的とする。

② 事業内容

別府市のマーケティングを行う人材が必要なことから、APU(立命館アジア太平洋大学)等で観光マーケティングを履修している学生をインターンシップとして受け入れ、現場でその実践機会を提供する。

③ 事業実績

	育成方針	実 績
APU (S さん)	<b>【実践を通して学ぶ】</b> 別府駅の観光案内所にてマチとの接点を持ち、学びのサイクルを生み、視点を変えて実践に取り組み、別府の課題解決に寄与する	・ワンダーコンパス別府にて熟練スタッフからおもてなしの本質を学び、気付く力を培い、実践を行った ・別府市公式ホームページにて「APU インターン生が見た別府」として 6 本の記事を作成及び公開 ・別府の魅力を客観視できる目線を醸成するため、他地域の視察 など
APU (N さん)		
APU (Y さん)		

(3) 海外旅行会社とのネットワーク構築（ランドオペレーター）事業

[決算額 9,240 千円]

① 事業目的

訪日旅行を取り扱う海外旅行会社に対し、幅広いアプローチを行い、外国人観光客増加及びコロナ後に向けた海外旅行会社との連携を維持する。

② 事業内容

訪日観光市場の最前線で活動する企業等と連携し、訪日旅行を取り扱う海外旅行会社に対して幅広いアプローチを行う。

③ 事業実績

- ・ 集客 (R4 年 10 月以降) : 12 ツアー、250 名
- ・ 上記ツアー取り扱い国 : 豪州、シンガポール、マレーシア、ベトナム、香港
- ・ ランドオペレーター業務 : 海外から別府を含むツアーの造成、各国旅行会社との営業セールス (オンラインがメイン)
- ・ 商談数 : 91 商談
- ・ 商談国 : 豪州、マレーシア、シンガポール、ニュージーランド、米国、英国、ベトナム、タイなど
- ・ マレーシア大手旅行会社と別府を含むシリーズツアーを造成
- ・ 豪州のヨガツアーを取り扱う旅行会社と別府に 4 泊のツアーを造成、2023 年度も 2 ツアーを造成
- ・ カンタス航空の子会社と別府を含むツアーの造成を実施
- ・ シンガポールの旅行会社と別府 2 泊を含むツアーの造成
- ・ 豪州の大手旅行会社と、2023 年の別府 2 泊を含むツアーの造成
- ・ ベトナムの最大手と、別府を含む募集型ツアーの造成 (催行予定 2023 年 5 月と 8 月)

(4) 既存資源の磨き上げによる新アクティビティ開発事業

[決算額 6,600 千円]

① 事業目的

稼げる観光資源や別府の強みを磨き上げる企画案及び事業計画を作成し、必要に応じて磨き上げ資金を調達し、運営プレイヤーを育成、広告費等自走初期の伴走をする。

② 事業内容

別府を舞台にしたアクティビティを開発する。

③ 事業実績

別府に点在する観光スポットへの移動をアクティビティに変えた乗り物「ゆのくにクルーザー」をガソリン車から環境に配慮した EV 車へ入れ替え、別府駅前を中心にレンタル開始に向け準備を行った。コロナによる半導体の不足から EV 車への入れ替えが 3 月末になつたため運用開始は次年度となった

(ゆのくにクルーザーEV レンタル場所)

- ・ ワンダーコンパス
- ・ ホテルアマネク別府ゆらり

**【事業評価】**

観光庁の補助金申請や周遊パスポートの造成等により、誘客を期待できる事業を展開できた。また、APU と連携し、観光マーケティングを履修している学生をインターンシップとして受け入れ、現場での実践機会を提供できた。海外旅行会社とのネットワーク構築事業では、アフターコロナを見据えた商談や旅行商品の造成ができたと考える。新アクティビティの開発は年度内に間に合わなかったが、次年度以降に繋がる取組となった。



## 5 観光客の受入体制の充実

(1) トイレ整備費及び除草作業等景観維持費用

[決算額 1,303 千円]

① 事業目的

トイレの改修・整備や道路の除草作業等を行うことにより、おもてなしの向上を図る。

② 事業内容

トイレの改修・整備や、国道や県道といった所管以外施設の除草作業等を実施する。

③ 事業実績

- ・ 大谷公園、別府公園、渋の湯広場、十万公園のトイレトペーパーの補充等
- ・ 志高湖女子トイレの洋便器化
- ・ 別府駅手湯に竹デコレーションの設置
- ・ 志高湖入口等の枯れ松伐採撤去

**【事業評価】**

例年に引き続き、観光客が多く利用する公園等のトイレトペーパーの補充等を実施し、受入体制の向上を図った。別府駅手湯に伝統工芸である竹を使用したデコレーションを施し、高付加価値化を図ることができた。